

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2016年10月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体件数は、前年同月に比べて124件少なくなっている。年代別では、10代、60代、70代からの相談が前年同月に比べて件数、割合ともに増加した。

■雇用形態別では正社員からの相談が全体の半数を占め、業種別では「製造業」が137件、18.1%と前年同月に比べて件数、割合ともに増加した。相談内容別では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が最も多く、続いて「解雇・退職強要・契約打切」「雇用契約・就業規則」に関する相談が多く寄せられた。

■具体的な相談内容では、「今年4月から働きはじめた息子は毎日早朝から深夜まで長時間仕事しているにも関わらず、残業時間実際より短い時間で申請するよう会社から指導されている」「娘が職場で上司からいやがらせをうけており、休みも脅されてとれず無理して仕事に行っている。家で泣くこともあり、自殺しないか心配だ」「息子が学校の紹介で仕事を始めたが、入社時の説明とは違い、休日も少なく勤務時間も長い上に、時間外手当も定額で少額しか支払われない」など親から子どもの働き方を心配する相談が散見された。

		2016年		2015年			
集計対象期間		10月1日～10月31日		10月1日～10月31日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,066		1,190			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	581	54.4%	男性	634	53.3%	
	女性	487	45.6%	女性	556	46.7%	
年代 (不明除く)	10代	11	1.4%	10代	4	0.4%	
	20代	76	10.0%	20代	154	16.5%	
	30代	167	21.9%	30代	220	23.6%	
	40代	244	32.1%	40代	290	31.1%	
	50代	176	23.1%	50代	181	19.4%	
	60代	72	9.5%	60代	71	7.6%	
	70代	15	2.0%	70代	11	1.2%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	556	54.6%	正社員	593	52.8%	
	パート	195	19.2%	パート	209	18.6%	
	アルバイト	48	4.7%	アルバイト	70	6.2%	
	派遣社員	52	5.1%	派遣社員	64	5.7%	
	契約社員	80	7.9%	契約社員	89	7.9%	
	嘱託社員	13	1.3%	嘱託社員	9	0.8%	
	臨時・非常勤職員	7	0.7%	臨時・非常勤職員	8	0.7%	
	その他	67	6.6%	その他	81	7.2%	
業種(上位) (不明除く)	1位	製造業	137	18.1%	医療、福祉	153	18.5%
	2位	医療・福祉	133	17.5%	製造業	132	15.9%
	3位	サービス業(他に分類されないもの)	108	14.2%	サービス業(他に分類されないもの)	122	14.7%
	4位	卸売・小売業	95	12.5%	卸売・小売業	97	11.7%
	5位	運輸業	73	9.6%	運輸業	82	9.9%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	133	12.5%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	156	13.1%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	125	11.7%	解雇・退職強要・契約打切	117	9.8%
	3位	雇用契約・就業規則	85	8.0%	雇用契約・就業規則	101	8.4%
	4位	退職金・退職手続	78	7.3%	退職金・退職手続	85	7.1%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	58	5.4%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	71	5.9%